



公明党 藤浪 清司 議員

- 1 防災危機管理体制について
- 2 浸水被害対策について

質問1 防災危機管理監の役割について、台風17号などの対応及び、反省点を尋ねる。

答弁1 避難所の開設、危険箇所の通行止め、避難勧告の発令など必要な指示を行ったが、広報活動に改善の余地があり、今後改めてまいりたい。

質問2(1) 浸水被害の発生が懸念される地域の再点検と整備計画について尋ねる。

答弁2(1) 整備優先順位については、再度精査をする。特に重要な金沢川の第一期区間整備は、平成32年を目途に、1年でも早く完成出来るよう進める。

質問2(2) 道路・地下道の冠水対策について尋ねる。

答弁2(2) 桜島地下道に注意看板を試行的に設置し、車道地下道への優先設置を検討する。いち早く通行止めをする為に、効率的なパトロールを実施する。

質問2(3) 浸水(内水)ハザードマップ作成を提案する。

答弁2(3) これまでの浸水状況や市内の地形などを基に、内水ハザードマップの早期作成に取り組む。

質問2(4) 緊急エリアメールの活用について尋ねる。

答弁2(4) 避難勧告等について、緊急エリアメールなどの情報発信ルールを定め、より迅速な対応に努める。

質問2(5) 災害廃棄物の処理について尋ねる。

答弁2(5) 被害規模などを勘案し、災害対策本部において必要と判断したときは、処理場受入れ時間の延長、仮置き場開設など、適切な対応を行う。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

- 1 鈴鹿市制施行70周年事業について
 - (1) 事業内容と予算について
 - (2) 文化振興の補助について
 - (1) 全国大会の補助と今後について
- 3 救急情報ネックレスについて
 - (1) システムと普及促進について

質問1 市民事業の内容と事業選定に至るまでの審査方法、及び市の予算と各事業の補助について。

答弁1 7事業が開催され市民イベントとして各地域で盛大に行われた。また市民からの52の事業を選定するのに審査会を設置し7事業を選定した。審査方法は、10項目の審査基準を設け項目毎に採点し、得点上位から7事業を選定した。市の予算は一事業につき50万円を

上限とし総額300万円を計上した。

質問2 鈴鹿の名を全国に発信するのになぜ文化振興だけが補助対象にならないのか。また、今後小中学生の補助要項を作成し、父兄の負担緩和を願いたい。

答弁2 学校教育分野以外での補助については、明確な補助基準がない。今後、スポーツ分野の激励金の支給基準を参考に補助制度を検討していく。

質問3 ネックレスのシステムと事業の取組み、登録者数と今後の普及促進について。

答弁3 要介護者台帳を基に一人暮らしの方を選定し募集する。ネックレスの番号により所在が確認でき情報も把握できる。現在400人が登録しており台帳に登録されている方はネックレスの申し込みが可能である。今後は登録者台帳に希望者を募る。



リベラル鈴鹿 大窪 博 議員

- 1 漏水修理の状況について
 - (1) 修繕の対応について
 - (2) 減免制度について
- 2 住宅リフォーム助成制度について
 - (1) 現在の進捗状況について
 - (2) 今後の対応について

質問1(1) 漏水等が発生した場合、どの様に修繕の対応を図ればよいのか。

答弁1(1) 修繕工事を行う場合、水道管理者の指定を受けた指定給水装置工事業者が施工する。

質問1(2) 漏水の減免制度はどのようなものか。

答弁1(2) 漏水修繕工事完了後に、「水道料金軽減申請書」及び「修理完了証明書」並びに漏水箇所の写

真を添付し、適切と決定した場合は、当該申請者に通知する。

質問2(1) これまでの事業の進捗状況を説明願う。

答弁2(1) 平成24年11月30日現在では、申し込みが、350件、補助金の交付予定額は、1,555万3千円、予定総工事費は約4億680万円であり、一工事あたりの金額は約116万円という状況である。

質問2(2) 今後、事業を継続する考えはあるのか。

答弁2(2) 今年度の事業が継続中であり、今後の事業の進捗状況や、事業効果の検証等を行いながら諸条件を総合的に勘案したい。